

口腔腫瘍学

Oral and Maxillofacial Oncology

単位数：5単位

○管野貴浩 教授：歯科口腔外科学 青井典明 准教授：耳鼻咽喉科
玉置幸久 准教授：放射線治療科 奥井達雄 准教授：歯科口腔外科学

1. 科目の教育方針

口腔腫瘍学においては、口腔腫瘍治療の実際について学ぶ。口腔腫瘍の病理をはじめとする基礎事項から、切除および顎口腔の形態・機能再建～歯科インプラントの応用による歯科補綴的顎口腔機能再建を含めた口腔病変の一貫治療について、最新の治療法を理解する。また、症例カンファレンスを通して、治療の実際を学ぶ。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 口腔癌の実践に必要な基礎的・臨床的知識を獲得する。
- 2) 口腔癌切除後の形態・機能再建法を理解する。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 各種抗がん剤の作用機序について分類、説明できる。
- 2) 多剤併用化学療法を説明できる。
- 3) 放射線治療について説明できる。
- 4) 口腔癌切除の基本手技を説明できる。
- 5) 頸部郭清術について説明できる。
- 6) 歯源性腫瘍の治療の実際について説明できる。
- 7) 唾液腺腫瘍診断と治療法について説明できる。
- 8) 口腔癌切除後の形態再建について説明できる。
- 9) 歯科インプラントを用いた口腔機能再建について説明できる。

3. 教育の方法、進め方

上記行動目標に関して、参加者と教員で症例毎にプレゼンテーションを行う。講義は主として面接授業で行うが、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて、オンライン授業に変更する場合もある。オンライン授業の場合は、Teams 等によるライブ配信を中心にオンデマンドを併用する。講義方法に変更がある場合には都度、連絡を行う。

4. 成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率（2/3 以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度

を主眼に評価する。なお、講義の順序は変更の可能性あり。

5. 使用テキスト・参考文献

当講座オリジナル資料を適宜配布する。

6. 教育内容

回	授業内容	担 当
1	臨床腫瘍学総論	管野貴浩
2	口腔腫瘍（歯原性腫瘍・唾液腺腫瘍を含む）の臨床病理学	管野貴浩
3	口腔腫瘍の鑑別診断	奥井達雄
4	口腔腫瘍の画像診断	玉置幸久
5	口腔における細胞診	管野貴浩
6	口腔癌における放射線治療・化学療法の位置づけ	玉置幸久
7	口腔癌手術学	管野貴浩
8	口腔癌切除後の軟組織再建法（有茎・遊離組織移植による）	管野貴浩
9	口腔癌切除後の硬組織再建法（骨移植・骨延長法を含む）	管野貴浩
10	口腔癌切除後への再生治療の応用	奥井達雄
11	歯科インプラントによる顎口腔再建法	管野貴浩
12	頭頸部癌の臨床(I)（症例カンファレンス）	青井典明
13	頭頸部癌の臨床(II)（症例カンファレンス）	青井典明
14	頭頸部癌の臨床(III)（症例カンファレンス）	管野貴浩
15	総括	管野貴浩